

### Ⅲ 保健予防推進担当

#### 1 感染症予防

保健所では「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下、「法」という）に基づき、一類から五類までの感染症の法的対応、発生動向の把握、予防、まん延防止等に努めています。

##### (1) 感染症対策

ア 感染症患者発生・対応状況

令和3年度 単位：件

分類	病名	発生件数 (※2)	対応件数 (※3)
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4	5
四類感染症	A型肝炎	1	1
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3	3
	梅毒	5	5
	劇症型溶血性レンサ球菌	1	1
	百日咳	10	10

※1 一類及び二類感染症（結核・新型コロナウイルス感染症を除く）の発生はない。

※2 感染症発生動向調査による。

※3 他保健所からの依頼分、検査の結果取り下げとなった分を含む。

イ 新型コロナウイルス感染症患者発生・対応状況

令和2年2月7日、新型コロナウイルス感染症を「指定感染症」として定める等の政令等が施行されました。その後、令和3年2月13日に法の改正により、法的位置付けについては「新型コロナウイルス感染症」に変更されています。

令和3年度 単位：件

病名	発生件数	対応件数(※)
新型コロナウイルス感染症	18,176	19,949

※ 管外居住陽性者、検査の結果取り下げとなった分を含む。

月別発生件数

令和3年度 単位：件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
257	326	138	589	2,224	448	25	10	17	3,231	6,339	4,572	18,176
第4波			第5波				第6波					

年代別発生件数

令和3年度 単位：件

10歳未満	20歳未満	30歳未満	40歳未満	50歳未満	60歳未満	70歳未満	80歳未満	90歳未満	100歳未満	100歳以上	合計
2,525	2,193	3,956	3,224	2,810	1,769	783	489	319	105	3	18,176

発生届受理時点の患者類型

令和3年度 単位：件

患者（確定例）	無症状病原保有者	疑似症	死亡	合計
17,284	610	281	1	18,176

患者の療養先

令和3年度 単位：人

自宅療養	宿泊療養	入院	合計
15,767	1,059	1,278	18,176

※宿泊療養、入院を1泊医療利用した患者は自宅療養には含まれない。

患者搬送数

令和3年度

ホテル搬送	病院搬送	合計
464件	226件	690件
1,031人	245人	1,276人

※ホテル搬送 … 1台に複数人乗車しているため件数と人数に差異あり。

※病院搬送 … 搬送後、入院にならず帰宅する者は往復で利用しているため件数と人数に差異あり。

ウ 感染症診査協議会

法第24条（感染症の診査に関する協議会）に基づき設置されています。感染症発生時の患者等への就業制限、入院勧告、入院勧告の延長及び法第37条の2（結核患者の医療）の通院医療費公費負担申請についての保健所長の諮問に対し、診査と答申を行います。

令和3年度の診査協議会委員の構成は、感染症指定医療機関の医師1名、感染症指定医療機関以外の医師1名及び弁護士1名の3名でした。

感染症診査協議会診査状況

※条項は感染症法

令和3年度

開催日数	出席委員数 (延べ人数)	就業制限 (第18条)	応急入院 (第19条)	入院勧告 (第20条第1項)	入院勧告延長 (第20条第4項)	結核患者の医療 (第37条の2)
23日	69名	16,934件	1,249件	1,120件	947件	44件
	結核(再掲)	7件	7件	7件	16件	44件

## エ 管内感染症担当者会議

健康に重大な影響を及ぼす感染症が発生した場合に備え、管内の関係機関と連携を図るとともに、早期に対応が行える体制を整備することを目的として実施しています。

開催日	令和3年12月9日(木)
参加者	18名 (管内の 医師会、病院、診療所、消防本部、市保健センター、保健所 の職員)
内容	(1) 新型コロナウイルス感染症発生に関する報告 (2) 在宅療養者支援に関する報告・課題 (3) 今後の支援体制について

## オ 新型インフルエンザ対策 感染症危機管理対策の一環として、新型インフルエンザ等の発生時に備えるため訓練を実施しています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止しました。

## (2) 結核対策

保健所では、結核患者への入院勧告・医療費公費負担等の法的対応とともに、服薬支援を中心とした療養支援、その家族・接触者に対する健康診断の実施による感染拡大の防止等、結核対策を重要な事業として、その対応に努めています。

(以下、ア～オの表は厚生労働省の統計（年計）による。また、埼玉県の数値にさいたま市は含まない。)

### ア 結核患者登録者数（潜在性結核感染症を除く）

令和3年12月31日現在、法に基づく当所の結核患者登録数は74人でした。

令和3年12月31日現在 単位：人

年齢階層	登録者計	活動性結核								不活動性結核	活動性不明
		計	肺結核活動性						肺外核活動性		
			計	登録時喀痰塗抹陽性		登録時 他の菌 陽性	登録時 菌陰性 その他				
				計	初回治療			再治療			
計	46	11	7	3	3	0	3	1	4	27	8
0 - 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 - 9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 - 14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15 - 19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20 - 24	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
25 - 29	6	3	3	1	1	0	2	0	0	1	2
30 - 34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35 - 39	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
40 - 44	6	1	1	1	1	0	0	0	0	2	3
45 - 49	4	2	2	0	0	0	1	1	0	1	1
50 - 54	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
55 - 59	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
60 - 64	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
65 - 69	5	1	0	0	0	0	0	0	1	4	0
70 - 74	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
75 - 79	3	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0
80 - 84	5	1	1	1	1	0	0	0	0	3	1
85 - 89	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
90 以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
埼玉県	1,418	309	220	101	98	3	69	50	89	712	397
全国	27,754	7,744	5,556	2,707	2,578	129	2,107	742	2,188	14,964	5,046

イ 新規患者登録数（潜在性結核感染症を除く）

令和3年中、新たに登録された管内の結核患者は19人でした。令和2年中の新規登録者数34人と比して15人減少しました。

令和3年 単位：人

年齢階層	活動性結核							
	計	肺結核活動性						肺外結核活動性
		計	喀痰塗抹陽性			その他の結核菌陽性	結核菌陰性その他	
			計	初回治療	再治療			
計	19	12	5	5	0	6	1	7
0 - 4	0	0	0	0	0	0	0	0
5 - 9	0	0	0	0	0	0	0	0
10 - 14	0	0	0	0	0	0	0	0
15 - 19	0	0	0	0	0	0	0	0
20 - 24	1	1	0	0	0	1	0	0
25 - 29	1	1	0	0	0	1	0	0
30 - 34	0	0	0	0	0	0	0	0
35 - 39	1	0	0	0	0	0	0	1
40 - 44	1	1	1	1	0	0	0	0
45 - 49	2	1	0	0	0	1	0	1
50 - 54	1	1	1	1	0	0	0	0
55 - 59	1	0	0	0	0	0	0	1
60 - 64	1	0	0	0	0	0	0	1
65 - 69	2	0	0	0	0	0	0	2
70 - 74	0	0	0	0	0	0	0	0
75 - 79	3	2	0	0	0	1	1	1
80 - 84	2	2	1	1	0	1	0	0
85 - 89	2	2	1	1	0	1	0	0
90 以上	1	1	1	1	0	0	0	0
埼玉県	509	363	178	170	8	128	57	146
全国	11,519	8,413	4,127	3,962	165	3,223	1,063	3,106

ウ 登録時活動性分類別結核新登録患者数（潜在性結核感染症を除く）

管内における登録時の肺結核喀痰塗抹陽性者の割合は26.32パーセントでした。

令和3年 単位：人

登録時状況	管内	埼玉県	全国
肺結核喀痰塗抹陽性	5	178	4,127
肺結核その他の菌陽性	6	128	3,223
肺結核菌陰性・その他	1	57	1,063
肺外結核	7	146	3,106
計	19	509	11,519

エ 結核新規登録患者（潜在性結核感染症を除く）

当所管内の令和3年の結核罹患率は、人口10万対8.8人で、前年比で7名減りました。

年齢層別では、39歳以下では、罹患した全員が外国生まれの方でした。

令和3年 単位：人（）：外国生まれ

年齢層	人数	内 訳		罹患率（人口10万対）※		
		蕨市	戸田市	管内	蕨市	戸田市
0～9歳	0	0	0	0	0	0
10～19歳	0	0	0	0	0	0
20～29歳	2（2）	1（1）	1（1）	6.6	9.1	5.1
30～39歳	1（1）	1（1）	0	3.2	9.0	0
40～49歳	3（1）	2（1）	1	8.5	18.0	4.1
50～59歳	2	1	1	6.5	9.6	4.9
60～69歳	3	1	2	15.2	12.8	16.7
70～79歳	3（1）	2（1）	1	15.8	24.8	9.2
80歳以上	5	0	5	40.0	0	72.9
全年齢	19（5）	8（4）	11（1）	8.8	10.5	7.8
埼玉県	509			6.9		
全 国	11,519			9.1		

※ 令和3年4月1日現在の人口を用いて算出。

オ 潜在性結核感染症登録数

結核患者発生に伴う接触者健康診断（後述）の結果などから、発病を予防するために治療が必要と診断されると「潜在性結核感染症」として登録されます。

療養支援等、保健所の関わりは発病した結核患者に対するものと変わりませんが、国の統計上は別掲として取り扱われます。

単位：人

	令和3年	令和2年
管 内	9	19
埼 玉 県	235	262
全 国	5,140	5,574

カ 結核健康診断実施状況

結核と診断された者の接触者（家族、友人、職場同僚等）及び結核治療終了後の経過観察中の患者を対象として、IGRA検査、胸部エックス線検査等の検査を実施しました。

(ア) 接触者健診

①接触者健康診断受診者数（延べ人数） 令和3年度 単位：人

実施機関	健診内容		
	ツベルクリン反応検査	IGRA検査	胸部エックス線検査
保健所	0	91	0
委託医療機関	1	12	15
その他医療機関	0	99	60
合計	1	202	75

②患者発見者数 令和3年度

活動性結核	2人
潜在性結核感染症	10人

(イ) 管理健診

②管理健診受診者数（延べ人数） 令和3年度 単位：人

	胸部エックス線検査	喀痰検査
委託医療機関	17	0
その他医療機関	61	0
合計	78	0

キ DOTS（直接服薬確認療法）実施状況

結核患者の治療完了を目的とした服薬支援を行っています。

患者自身や患者を取り巻く状況を考慮し、最適な服薬支援ができるようカンファレンスを行い、DOTSを実施しました。

令和3年度

DOTSカンファレンス		DOTS	
実施回数	検討数	対象者数	延べ件数
12回	25件	54人	489件

DOTS内訳（延べ数）：電話280件、訪問54件、来所19件、郵送136件

## ク 結核相談実施状況

令和3年度

訪 問		面 接	電 話
実 件 数	延 べ 件 数	延 べ 件 数	延 べ 件 数
13件	58件	85件	588件

## (3) 性感染症・B型/C型肝炎・HTLV-1対策

保健所では、性感染症・B型/C型肝炎・HTLV-1に関する健康相談や検査を実施することで、予防や患者及び感染者の早期発見に努めています。

当所では、毎月第一水曜日にHIVの即日検査、第三火曜日に性感染症の通常検査を実施しています。

令和3年度については、新型コロナウイルス感染症流行に伴い、通常検査及び即日検査共に予約人数を5名までとし実施しました。なお、令和4年2、3月においては通常及び即日検査共に中止しました。

相談・検査件数

令和3年度 単位：件

検査件数（延べ件数）		計	男 性	女 性
HIV（エイズ）	通常	35	24	11
	即日	17	16	1
梅毒		35	24	11
クラミジア		35	24	11
HBV（B型肝炎）		35	24	11
HCV（C型肝炎）		35	24	11
HTLV-1		1	1	1
相談件数（電話・面接 延べ件数）				302



## 2 母子保健

### (1) 母子保健訪問指導状況

令和3年度 単位：人

	計		妊産婦		未熟児を除く新生児		未熟児		未熟児・新生児を除く乳児		幼児		その他	
	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数
実施数	15	22	1	1	0	0	0	0	3	3	6	7	5	11

※ 未熟児訪問指導の実施主体は、平成25年度から市へ移譲されました。

### (2) 子どもの心の健康づくり事業

#### ア 子ども心の健康相談

子どもの心の健康問題に対応するため専門相談窓口を開設し、関係機関との連携や事例についての検討も重ね、次世代を担う子どもの健全育成を図ることを目的として実施しました。

令和3年度 単位：件

令和2年度相談件数	計	蕨市	戸田市
		16	16

【主な相談内容】発達障害、不登校、暴力、学校での生活、感情コントロール等

#### イ 子ども心のネットワーク事業

##### (ア) 小児精神保健医療推進連絡会議

子どもの心の問題に対応するため、関係機関との事例検討、情報交換等を通して、保健、福祉、教育、医療等との連携を推進する目的で連絡会議を開催しています。

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。

##### (イ) 子ども心の問題に関する研修会

上記の「小児精神保健医療推進連絡会議」と同時開催としていましたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。

#### (ウ) ケースカンファレンス

子どもの心の問題を抱える関係機関のネットワークづくりとして、事例検討会を実施しました。

日 時	令和3年10月13日(水) 14:00~16:30
場 所	南部保健所 大会議室
参 加 者	20名 (教育委員会・小学校・中学校・特別支援学校・児童相談所・保健所 職員)
内 容	ケースカンファレンス(事例検討会) 「不登校状態にある小学生へのサポート ～家族全体の関係性と健康問題から、子どもの心の健康を考える～」 助言者：立教大学現代心理学部 教授 大石 幸二 氏

#### (3) ふれあい親子支援事業

子育てに悩む親及び児童虐待のリスクがある子どもと親にかかわる関係者への支援により児童虐待を予防することを目的として、平成12年度から、ふれあい親子支援事業を実施しています。現在は、精神科医及び臨床心理士による個別面接、関係職員による事例検討会を事業内容としています。

スタッフは、精神科医師、臨床心理士、保育士、保健師です。

なお、令和3年度は事例検討会を重点に行い、精神科医師及び臨床心理士による個別相談の実績はありませんでした。

#### 令和3年度実施状況

	実施回数	検討事例数	参加者 延べ人数
事例検討会	5	5	37人

#### (4) 長期療養児教室

##### ア 集団指導

小児慢性特定疾病医療給付受給者とその保護者等を対象に、日常生活を送る上で抱えている不安や悩みに対して、家族同士の交流及び情報交換を目的として、長期療養児教室を実施しています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。

##### イ 研修会

地域の関係者が医療的ケア児の療養生活を理解し相談スキルを高めることで、医療的ケア児が健やかに心身の発育発達ができることを目的に、研修会を実施していましたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。

(5) 妊娠期からの虐待予防強化事業

平成19年度から実施してきた、総合及び地域周産期医療センターと地域機関の連携による「周産期からの虐待予防強化事業」を発展させ、平成28年度からは全ての産婦人科医療機関から支援が必要と判断される事例を早期に把握、地域機関と連携し育児不安等を軽減させ、児童虐待の予防を図ることを目的として、「妊娠期からの虐待予防強化事業」を開始しました。

妊娠期からの虐待予防強化事業が開始されたことに伴い、産婦人科医療機関からの連絡票は、直接市町村保健機関へ通知されるようになりました。

ア 養育支援連絡票等受理件数

令和3年度 単位：件（延）

様式	管内合計	蕨市	戸田市
養育支援連絡票	172	52	120
その他様式	47	6	41

イ 研修会等実施状況

妊娠期からの虐待予防強化事業を円滑に推進し、支援が必要なハイリスク事例を、医療機関と地域機関が早期から連携した支援を行い児童虐待予防に資するため、支援者の技術向上と、より円滑な連携の促進を目的とした研修会及び連絡会議を実施しています。令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修会のみ実施しています。

動画配信による講義

日時	令和3年11月17日（水）～ 令和3年12月15日（水）
参加者	69名 （市保健センター・市児童福祉課・児童相談所 職員）
内容	講義「母親を支援するための面接の基本」 濟生会川口総合病院 臨床心理士 田熊 喜代巳 氏 講義「産後の母親のメンタルヘルス支援 ～3つの質問紙の活用における注意点とアセスメントのポイント～」 きむらメンタルクリニック 院長 木村 武登 氏

実践編

日時	令和3年12月24日（金） 9：00～11：45 令和4年 1月20日（木） 9：00～11：45
場所	戸田市福祉保健センター 健診室
参加者	35名 （市・保健所 職員）
内容	ロールプレイ及びグループワーク「質問紙を用いた育児支援」

#### (6) 保健所別連携調整会議

管内の母子保健に関する情報交換等を行うことで業務の円滑化を図ると共に、母子保健業務に関係する保健師の対応技術の向上を目的とした連携調整会議を例年実施しています。

また、家族の関係性や健康問題が複雑なハイリスク事例に対する保健師の個別支援スキルの向上を目指した人材育成研修も例年実施しています。どちらも、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。

### (7) 母子保健医療給付事業

妊産婦の療養援護及び児童の健全育成と福祉の向上を図るため、医療費の助成を行いました。

#### ア 小児慢性特定疾病医療費助成制度（根拠法令：児童福祉法第19条の2）

小児慢性特定疾病の治療研究を推進し治療法の確立と普及を図るとともに、医療費の負担を軽減するため医療費の助成を行いました。

小児慢性特定疾病医療給付受給者数

令和4年3月31日現在 単位：人

病名	計	蕨市	戸田市
悪性新生物	26	4	22
慢性腎疾患	15	4	11
慢性呼吸器疾患	10	2	8
慢性心疾患	46	10	36
内分泌疾患	42	8	34
膠原病	9	2	7
糖尿病	12	2	10
先天性代謝異常	7	4	3
血液疾患	11	1	10
免疫疾患	2	2	0
神経・筋疾患	14	2	12
慢性消化器疾患	15	4	11
染色体及び遺伝子に変化を伴う症候群	5	1	4
皮膚疾患	0	0	0
骨系統疾患	2	0	2
脈管系疾患	0	0	0
計	216	46	170

#### イ 妊娠中毒症等療養援護（根拠規定：埼玉県妊娠中毒症等療養援護費支給要領）

令和3年度 0人

#### ウ 結核児童療育医療給付（根拠法令：児童福祉法第20条）

結核に罹患し、入院治療を要する児童に対して、医療と学習用品・日用品を給付します。

令和3年度 0人

**(8) 不妊治療費助成事業**

不妊に悩む夫婦の不妊治療による経済的負担を軽減し受療機会を増やすことで、少子化対策及び次世代育成支援の推進を図ることを目的として、平成16年度から開始しました。併せて、不妊に関する相談も実施しています。

平成27年度からは男性不妊治療費助成を開始し、令和元年度からは男性不妊の初回治療に係る助成が拡充されました。令和2年度の申請件数は2件でした。

また、令和3年1月1日以降の治療終了分から、助成要件及び内容が変更になりました。

令和3年度 単位：件

特定不妊治療費助成件数	計	蕨市	戸田市
	476	141	335

**(9) 受胎調節実地指導員指定（母体保護法第15条第1項）**

令和3年度 0人

### 3 難病

#### (1) 医療費の公費負担

いわゆる難病のうち、特定の疾患〔指定難病、県単独指定難病、先天性血液凝固因子欠乏症（20歳以上）等〕に対して医療給付を行い、適正な医療の普及と医療費の負担軽減を図りました。

#### ア 指定難病医療給付受給者延べ人数

令和4年3月31日現在 単位：人

	病 名	受給者数
001	球脊髄性筋萎縮症	0
002	筋萎縮性側索硬化症	9
003	脊髄性筋萎縮症	0
004	原発性側索硬化症	1
005	進行性核上性麻痺	16
006	パーキンソン病	150
007	大脳皮質基底核変性症	4
008	ハンチントン病	1
009	神経有棘赤血球症	0
010	シャルコー・マリー・トゥース病	1
011	重症筋無力症	31
012	先天性筋無力症候群	0
013	多発性硬化症／視神経脊髄炎	40
014	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	3
015	封入体筋炎	0
016	クロー・深瀬症候群	0
017	多系統萎縮症	8
018	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	29
019	ライソゾーム病	7
020	副腎白質ジストロフィー	0
021	ミトコンドリア病	0
022	もやもや病	20
023	プリオン病	0
024	亜急性硬化性全脳炎	0
025	進行性多巣性白質脳症	0
026	HTLV-1関連脊髄症	0
027	特発性基底核石灰化症	0
028	全身性アミロイドーシス	4
029	ウルリッヒ病	0

	病 名	受給者数
030	遠位型ミオパチー	2
031	ベスレムミオパチー	0
032	自己貪食空胞性ミオパチー	0
033	シュワルツ・ヤンペル症候群	0
034	神経線維腫症	5
035	天疱瘡	3
036	表皮水疱症	0
037	膿疱性乾癬（汎発型）	2
038	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0
039	中毒性表皮壊死症	0
040	高安動脈炎	5
041	巨細胞性動脈炎	5
042	結節性多発動脈炎	3
043	顕微鏡的多発血管炎	8
044	多発血管炎性肉芽腫症	2
045	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	11
046	悪性関節リウマチ	8
047	バージャー病	1
048	原発性抗リン脂質抗体症候群	1
049	全身性エリテマトーデス	95
050	皮膚筋炎／多発性筋炎	30
051	全身性強皮症	30
052	混合性結合組織病	16
053	シェーグレン症候群	18
054	成人スチル病	8
055	再発性多発軟骨炎	5
056	ベーチェット病	11
057	特発性拡張型心筋症	7
058	肥大型心筋症	4
059	拘束型心筋症	0
060	再生不良性貧血	12
061	自己免疫性溶血性貧血	1
062	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
063	特発性血小板減少性紫斑病	20



	病 名	受給者数
064	血栓性血小板減少性紫斑病	0
065	原発性免疫不全症候群	4
066	IgA 腎症	20
067	多発性嚢胞腎	25
068	黄色靭帯骨化症	6
069	後縦靭帯骨化症	41
070	広範脊柱管狭窄症	16
071	特発性大腿骨頭壊死症	11
072	下垂体性 ADH 分泌異常症	3
073	下垂体性 TSH 分泌亢進症	0
074	下垂体性 PRL 分泌亢進症	3
075	クッシング病	1
076	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
077	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	5
078	下垂体前葉機能低下症	29
079	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	0
080	甲状腺ホルモン不応症	0
081	先天性副腎皮質酵素欠損症	2
082	先天性副腎低形成症	0
083	アジソン病	1
084	サルコイドーシス	19
085	特発性間質性肺炎	17
086	肺動脈性肺高血圧症	8
087	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
088	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	9
089	リンパ管筋腫症	4
090	網膜色素変性症	26
091	バッド・キアリ症候群	0
092	特発性門脈圧亢進症	0
093	原発性胆汁性胆管炎	18
094	原発性硬化性胆管炎	0
095	自己免疫性肝炎	6
096	クローン病	71
097	潰瘍性大腸炎	216

	病 名	受給者数
098	好酸球性消化管疾患	1
099	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
101	腸管神経節細胞僅少症	0
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
103	CFC 症候群	0
104	コステロ症候群	0
105	チャージ症候群	0
106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
107	若年性特発性関節炎	0
108	TNF 受容体関連周期性症候群	0
109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
110	ブラウ症候群	0
111	先天性ミオパチー	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0
113	筋ジストロフィー	9
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0
116	アトピー性脊髄炎	0
117	脊髄空洞症	1
118	脊髄髄膜瘤	0
119	アイザックス症候群	0
120	遺伝性ジストニア	0
121	神経フェリチン症	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0
126	ペリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	0
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	0
130	先天性無痛無汗症	0
131	アレキサンダー病	0

	病 名	受給者数
132	先天性核上性球麻痺	0
133	メビウス症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0
135	アイカルディ症候群	0
136	片側巨脳症	0
137	限局性皮質異形成	0
138	神経細胞移動異常症	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0
140	ドラベ症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0
144	レノックス・ガストー症候群	0
145	ウエスト症候群	0
146	大田原症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0
150	環状 20 番染色体症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0
152	PCDH19 関連症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0
156	レット症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0
158	結節性硬化症	1
159	色素性乾皮症	0
160	先天性魚鱗癬	0
161	家族性良性慢性天疱瘡	0
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	5
163	特発性後天性全身性無汗症	2
164	眼皮膚白皮症	0
165	肥厚性皮膚骨膜症	0

	病 名	受給者数
166	弾性線維性仮性黄色腫	0
167	マルファン症候群	2
168	エーラス・ダンロス症候群	0
169	メンケス病	0
170	オクシピタル・ホーン症候群	0
171	ウィルソン病	1
172	低ホスファターゼ症	0
173	VATER 症候群	0
174	那須・ハコラ病	0
175	ウィーバー症候群	0
176	コフィン・ローリー症候群	0
177	ジュベール症候群関連疾患	0
178	モワット・ウィルソン症候群	0
179	ウィリアムズ症候群	0
180	A T R-X 症候群	0
181	クルーゾン症候群	0
182	アペール症候群	0
183	ファイファー症候群	0
184	アントレー・ビクスラー症候群	0
185	コフィン・シリス症候群	0
186	ロスムンド・トムソン症候群	1
187	歌舞伎症候群	0
188	多脾症候群	0
189	無脾症候群	0
190	鰓耳腎症候群	0
191	ウェルナー症候群	0
192	コケイン症候群	0
193	プラダー・ウィリ症候群	2
194	ソトス症候群	0
195	ヌーナン症候群	0
196	ヤング・シンプソン症候群	0
197	1p36 欠失症候群	0
198	4p 欠失症候群	0
199	5p 欠失症候群	0

	病 名	受給者数
200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
201	アンジェルマン症候群	0
202	スミス・マギニス症候群	0
203	22q11.2欠失症候群	0
204	エマヌエル症候群	0
205	脆弱X症候群関連疾患	0
206	脆弱X症候群	0
207	総動脈幹遺残症	0
208	修正大血管転位症	0
209	完全大血管転位症	0
210	単心室症	0
211	左心低形成症候群	0
212	三尖弁閉鎖症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0
215	ファロー四徴症	0
216	両大血管右室起始症	0
217	エプスタイン病	0
218	アルポート症候群	0
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	1
222	一次性ネフローゼ症候群	24
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	2
224	紫斑病性腎炎	2
225	先天性腎性尿崩症	0
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	0
227	オスラー病	2
228	閉塞性細気管支炎	0
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	1
230	肺胞低換気症候群	0
231	$\alpha$ 1-アンチトリプシン欠乏症	0
232	カーニー複合	0
233	ウォルフラム症候群	0

	病 名	受給者数
234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	0
235	副甲状腺機能低下症	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0
240	フェニルケトン尿症	0
241	高チロシン血症1型	0
242	高チロシン血症2型	0
243	高チロシン血症3型	0
244	メープルシロップ尿症	0
245	プロピオン酸血症	0
246	メチルマロン酸血症	0
247	イソ吉草酸血症	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0
249	グルタル酸血症1型	0
250	グルタル酸血症2型	0
251	尿素サイクル異常症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0
253	先天性葉酸吸収不全	0
254	ポルフィリン症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0
256	筋型糖原病	0
257	肝型糖原病	0
258	ガラクトースー1ーリン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
260	シトステロール血症	0
261	タンジール病	0
262	原発性高カイロミクロン血症	0
263	脳髄黄色腫症	0
264	無 $\beta$ リポタンパク血症	0
265	脂肪萎縮症	2
266	家族性地中海熱	0
267	高IgD症候群	0

	病 名	受給者数
268	中條・西村症候群	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
271	強直性脊椎炎	8
272	進行性骨化性線維異形成症	0
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
274	骨形成不全症	0
275	タナトフォリック骨異形成症	0
276	軟骨無形成症	0
277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
278	巨大リンパ管奇形（頸部顔面病変）	0
279	巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変）	0
280	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）	0
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
283	後天性赤芽球癆	0
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
285	ファンコニ貧血	1
286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
287	エプスタイン症候群	0
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	0
289	クロンカイト・カナダ症候群	0
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	1
291	ヒルシュスプルング病（全結腸型又は小腸型）	0
292	総排泄腔外反症	0
293	総排泄腔遺残	0
294	先天性横隔膜ヘルニア	0
295	乳幼児肝巨大血管腫	0
296	胆道閉鎖症	0
297	アラジール症候群	0
298	遺伝性瘰癧	0
299	嚢胞性線維症	0
300	I g G 4 関連疾患	1
301	黄斑ジストロフィー	1

	病 名	受給者数
302	レーベル遺伝性視神経症	0
303	アッシャー症候群	0
304	若年発症型両側性感音難聴	0
305	遅発性内リンパ水腫	0
306	好酸球性副鼻腔炎	37
307	カナバン病	0
308	進行性白質脳症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0
310	先天異常症候群	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0
313	先天性肺動脈狭窄症	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）/LMX1B 関連腎症	0
316	カルニチン回路異常症	0
317	三頭酵素欠損症	0
318	シトリン欠損症	0
319	セピアプテリン還元酵素（SR）欠損症	0
320	先天性グリコシルホスファジリノシトール（GPI）欠損症	0
321	非ケトシース型高グリシン血症	0
322	$\beta$ -ケトチオラーゼ欠損症	0
323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
324	メチルグルタコン酸尿症	0
325	遺伝性自己炎症疾患	0
326	大理石骨病	0
327	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	0
328	前眼部形成異常	0
329	無虹彩症	0
330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症	0
331	特発性多中心性キャッスルマン病	1
332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
334	脳クレアチン欠乏症候群	0
335	ネフロン癆	0



	病 名	受給者数
336	家族性低βリポタンパク血症1（ホモ接合体）	0
337	ホモシスチン尿症	0
338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0
特定	スモン	0
特定	難治性肝炎のうち劇症肝炎	0
特定	重症急性膵炎	0
特定	プリオン病（ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る。）	0
県単	溶血性貧血（県指定）	0
県単	橋本病	0
県単	特発性好酸球増多症候群（県指定）	0
県単	脊髄空洞症（県指定）	0
県単	原発性慢性骨髄線維症	2
指 定 難 病 計		1, 3 1 1
特 定 疾 患 計		0
県 単 独 難 病 計		2
合 計		1, 3 1 3

令和4年3月31日現在 単位：人

指定難病医療給付 受給者数	計	蕨 市	戸 田 市
	1, 3 1 3	4 8 2	8 3 1

イ 先天性血液凝固因子欠乏症等医療給付受給者数

令和4年3月31日現在 単位：人

先天性血液凝固因子 欠乏症等医療給付受給者数	計	蕨 市	戸 田 市
	8	2	6

(2) 相談等

令和3年度（延数）

来 所 ・ 電 話	訪 問
5 3 9人	1 2人

### (3) 難病相談支援者支援研修

神経難病患者等の相談・支援に携わっている相談支援者が基礎的な知識を習得し支援者の相談スキルを高めることで、障害を伴う神経難病患者のQOLの維持・向上につなげることを目的に実施しています。感染拡大を考慮し、オンライン開催としました。

日 時	令和4年2月～3月
方 法	YouTube オンデマンド配信
対 象 者	神経難病患者の在宅支援に従事している方
内 容	神経難病の嚥下障害の理解と付き合い方
講 師	国立病院機構東埼玉病院 リハビリテーション科医師 梶 兼太郎 氏 同 摂食・嚥下障害看護認定看護師 武田 彩恵子 氏

### (4) 講演会等

在宅療養されている難病患者とその家族を対象として、包括的在宅療養講演会を開催しています。

日 時	令和3年9月
方 法	YouTube オンデマンド配信
対 象 者	潰瘍性大腸炎の患者（令和2年度新規受給者証保持者）とその家族、支援者
内 容	講演 潰瘍性大腸炎 ～病気とうまく付き合っていくために患者さんに知ってもらいたいこと～ 講師 国立病院機構東埼玉病院 名誉院長 正田 良介 氏

### (5) ひまわりの会（筋萎縮性側索硬化症 患者家族のつどい）

平成24年度から奇数月第2水曜日に開催しています。病気について、医療やサービス、介護についての話題を中心に、患者・家族の情報交換の場となっています。

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。

### (6) 難病患者等地域支援連絡会

南部保健医療圏の難病患者への支援、対応の一助とするために、障害福祉サービス等の情報交換を例年実施しました。

日 時	令和3年12月20日（月）10時～11時35分
場 所	南部保健所 大会議室
参 加 者	18名 (市保健センター・市障害福祉課・市介護保険等担当課・川口市保健所・南部保健所)
内 容	1) 難病対策の経緯と難病対策地域協議会 2) 指定難病医療給付状況等について 3) コロナ禍における難病患者支援について

#### (7) 南部保健医療圏難病対策地域協議会

南部保健医療圏の難病患者・家族への支援の体制整備を図るとともに、難病患者・家族への支援に必要な事項の検討及び協議のため、川口市保健所と共に平成30年度に設置しました。

委員は、医療、歯科、薬剤師、看護、在宅療養支援、福祉、介護、保健等各分野の団体から推薦を受けた27名に委嘱しています。

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため 書面開催
場 所	
参 加 者	委員 27名 (委員の詳細は、本書第4部『関係機関一覧』を参照)
内 容	1) 難病対策の経緯と難病対策地域協議会について 2) 南部保健医療圏指定難病等医療給付状況について 3) 災害時における難病患者等支援体制について 4) 各機関における新型コロナウイルス感染症と難病患者の支援について

## 4 肝炎治療医療費助成

国内最大級の感染症である、B型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎に対する抗ウイルス治療（インターフェロン治療、インターフェロンフリー治療及び拡散アナログ製剤治療で保険適用となっているもの）の医療費を助成し、早期治療につなげることにより、将来的な肝硬変、肝がんの予防や肝炎ウイルスの感染防止を目的としています。

肝炎治療受給者証申請交付件数

令和3年度 単位：件

項 目	件 数
インターフェロン治療新規申請（3剤以外）	2
インターフェロン治療2回目申請	0
インターフェロン治療3剤併用申請	0
インターフェロンフリー申請	17
核酸アナログ製剤治療新規申請	13
核酸アナログ製剤治療更新申請	110
インターフェロン延長申請	0
記 載 事 項 変 更	7
その他申請（療養費申請含む）	7
計	156

## 5 原爆被爆者援護

県は原爆被爆者の方への援護対策として、被爆者健康手帳や各種手当の申請・届出を各保健所で受け付けています。

### (1) 被爆者健康手帳所持者数

令和4年3月31日現在 単位：人

計	蕨市	戸田市
31	15	16

### (2) 各種手当の申請及び届出数

令和3年度 単位：件

各種手当の項目	件数
介護保険利用被爆者助成金支給申請	0
健康管理手当申請	0
一般疾病医療費支給申請	0
記載事項変更	0
二世手帳交付申請等	1
その他の申請	3
計	4

## 6 石綿（アスベスト）健康被害救済給付制度

県は独立行政法人環境再生保全機構から委託を受け、各保健所で申請を受付けています。  
令和3年中に当所で受付けた申請は0件でした。

申請受付件数

令和3年度 単位：件

本人申請分	認定申請、療養手当請求	0
遺族申請分	特別遺族弔慰金、特別葬祭料請求	0
計		0

## 7 健康づくり・栄養

### (1) 栄養指導状況

栄養改善は健康保持の基本です。現在の日本の栄養水準は、国民健康・栄養調査からみても全体的には向上しているとされている一方で、健康面からの栄養バランスの崩れや食習慣の乱れなど諸問題が提起されており、指導を行っています。

単位：人

	個別指導				集団指導		
	栄養指導	病態別 (再掲)	訪問指導 (再掲)	運動指導	栄養指導	病態別 (再掲)	運動指導
20歳未満	—	—	—	—	—	—	—
20歳以上	11	5	0	0	3	0	0

### (2) 国民健康・栄養調査

国勢調査区をもとに設定された単位区から、無作為抽出で指定された地区内の世帯及び世帯員を対象として栄養摂取状況調査等を行います。

令和3年度は管内一地区が該当しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため調査中止となりました。

### (3) 栄養関係団体育成事業

川口・戸田・蕨給食研究会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業の実施を見合わせました。

### (4) 食育推進事業・健康長寿事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部事業の実施を見合わせました。

健康長寿サポーター養成講習

開催日	研修会等名称	参加人数
令和3年4月28日(水)	看護系・栄養系保健所臨地実習	18名

#### (5) 埼玉県健康づくり協力店

食生活の改善を図るため、栄養情報等の提供、野菜たっぷりメニューの提供を行う飲食店等を埼玉県健康づくり協力店として指定し、健康情報を発信する拠点として県民の健康づくりをサポートしていただいています。

単位：施設

	和 食	洋 食	中 華	そ の 他
指定施設数	6	1	2	2

#### (6) 埼玉県給食施設栄養管理指導実施要綱に基づく指導・助言

健康増進法に基づき、特定かつ多数の者に対して継続的に食事を供給する施設における栄養管理等の実施について必要な指導・助言等を行うとともに、年に1回栄養管理状況報告書の提出を求めています。

令和3年度

実 地 指 導	指 導・助 言	報 告 書 提 出
8施設	36件	124施設

#### (7) 埼玉県受動喫煙防止対策実施施設等認証制度

受動喫煙防止対策に積極的に取り組み、令和元年6月から法律上の義務を上回る対策を実施する施設を認証しています。

単位：施設

	敷地内禁煙	屋内禁煙(単独施設)	屋内禁煙(テナント等)
令和3年度の認証施設数	39	28	36

## 8 歯科保健

歯科口腔保健を推進するため、保健所、関係機関職員、地域の歯科医師、歯科衛生士の連携を図ることを目的に地域における歯科保健医療サービスについて、講演等を実施しています。

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を見合わせました。

## 9 精神保健福祉

### (1) 申請・通報対応（根拠法令：精神保健福祉法第22条～26条）

ア 申請・通報による精神保健診察及び措置件数 令和3年度 単位：件

区 分	計	一 般 (22条)	警察官 通 報 (23条)	検察官 通 報 (24条)	保 護 観 察 所 (25条)	矯 正 施 設 (26条)	精神病院 の管理者 (26条2)
申請通報件数	214	—	159	34	—	21	—
精神保健診察件数	85	—	62	23	—	—	—
措置入院件数	52	—	44	8	—	—	—

※ 措置入院件数のうち緊急措置入院は3件でした。

イ 警察署別23条通報件数 令和3年度 単位：件

警 察 署 名	計	川 口	武 南	蕨	管 外
通報件数	159	80	37	41	1

### (2) 精神保健福祉相談（根拠法令：精神保健福祉法第47条）

ア 相談件数 令和3年度 単位：件

	訪 問	面 接	電話・メール
実 件 数	134	181	—
延 べ 件 数	287	389	3,507

※ 電話及びメールによる相談は延べ件数のみ把握している。

イ 専門相談 令和3年度

	被相談者	実施回数	相談延べ件数
精神保健福祉相談	精神科医師	0回	0件
ひきこもり相談	臨床心理士	0回	0件

(3) 地域精神保健推進事業（根拠法令：精神保健福祉法第2条、46条）

南部保健所管内精神保健福祉連絡会

管内の精神保健福祉等関係機関の連携強化と課題への対応能力の強化のため実施しています。

名 称	精神保健福祉連絡会（管内市担当者会議）
実 施 日	令和3年6月30日（木） 14：00～16：30
参 加 者	10名
内 容	情報交換及び意見交換 （1）南部保健所の体制 （2）各市・保健所における体制 （3）ひきこもり相談・依存症相談について

(4) 自殺対策関連事業（根拠法令：自殺対策基本法第4条）

薬物依存症対策事業

薬物依存体験の分かち合いと対処能力の向上を目的として、薬物依存症患者を持つ家族を対象に、薬物依存症家族の集いを実施しています。

実 施 回 数	隔月1回（年5回）
参加延べ人数	11名

(5) ひきこもり対策事業（根拠法令：精神保健福祉法第2条）

ひきこもり講演会

ひきこもる本人の気持ちの理解や、周囲の対応を学ぶ場として講演会を開催しています。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

(6) 精神障害者を地域で支えるシステム構築事業（根拠法令：精神保健福祉法第2条）

ア 精神障害者地域支援体制構築事業実務担当者会議

管内関係機関の精神障害者への支援状況を共有・整理を行うとともに、連携促進をはかるため、実務担当者の会議を実施しました。

実 施 日	令和3年12月23日（木） 14：00～16：00
参 加 者	21名
内 容	1) 事例報告 戸田市健康長寿課・南部保健所 2) グループワーク 3) 意見交換



#### イ 精神障害者地域支援体制構築会議

管内関係機関の精神障害者の地域生活支援・地域移行に関する取組み状況や課題等の共有と意見交換を行い、管内の精神保健福祉及び医療の連携促進をはかるための会議を実施しています。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面開催としました。

実施日	令和4年3月18日（金）
参加者	—
内容	(1) 精神障害者地域支援体制構築事業実務担当者会議について (2) 次年度以降の実務担当者会議の方向性について (3) 各市における協議の場の設置について 管内における精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に関する協議を行うことを目的とする。

#### ウ 精神障害に対応した地域包括ケアシステム構築推進研修

精神障害者が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしができるよう、相談支援専門員や退院後生活環境相談員、保健所・市町村職員がお互いの役割と機能を理解し、医療と保健・福祉の連携を強化し、精神障害に対応した包括的な支援体制の構築を図ることを目的とした研修を開催しています。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

#### (7) 埼玉県措置入院者退院後支援事業（根拠法令：精神保健福祉法第47条）

精神障害者支援地域協議会代表者会議

措置入院制度の運用、措置入院者の退院後の支援体制、医療機関及び関係機関の役割分担並びに地域における課題等について検討することを目的に会議を実施しました。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面開催としました。

実施日	令和4年3月18日（金）
参加者	—
内容	(1) 南部保健所の措置入院関係の対応状況について (2) 埼玉県及び南部保健所における休日夜間の精神科救急の現状と課題（埼玉県立精神保健福祉センター）  措置入院の運用、措置入院者の退院後の支援体制、医療機関及び関係機関の役割分担並びに地域における課題等について検討を行いました。